



2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月4日

上場会社名 株式会社エムケイシステム

上場取引所 東

コード番号 3910 URL <https://www.mks.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三宅 登

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 筒井 努

TEL 03-6895-3700

四半期報告書提出予定日 2019年2月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	1,461	6.5	171	16.3	169	17.1	48	62.2
2018年3月期第3四半期	1,371	37.4	204	34.1	204	33.7	128	35.2

(注)包括利益 2019年3月期第3四半期 41百万円 (67.5%) 2018年3月期第3四半期 128百万円 (31.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	8.97	
2018年3月期第3四半期	23.74	

(注)当社は、2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	1,999	1,102	52.7
2018年3月期	2,178	1,136	48.9

(参考)自己資本 2019年3月期第3四半期 1,054百万円 2018年3月期 1,065百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		22.00	22.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				8.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は、2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。なお、2018年3月期の「配当の状況」については、当該株式分割前の株式数を基準としております。

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,098	11.2	216	31.0	216	31.8	75	63.0	13.95

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	5,428,000 株	2018年3月期	5,428,000 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	312 株	2018年3月期	238 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	5,427,717 株	2018年3月期3Q	5,427,908 株

(注)当社は、2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善に伴い雇用環境・設備投資の改善が続き、緩やかな回復基調で推移しました。一方、世界経済については、通商問題の動向が与える影響や不確実性等に十分留意する必要がある状況です。国内の情報サービス業界では、クラウドコンピューティングに代表されるサービス化の流れが一層加速する中、AI（人工知能）等の最新のテクノロジーの利用も進んでおります。中でも、当社グループの関連する人事労務領域においては、政府が推進する「働き方改革」に伴う効率的な働き方を実現するためのクラウドサービスの活用意欲が高まっております。

このような環境の下、当社グループでは、社労夢事業における社労夢システムの拡販と、CuBe事業において「年末調整CuBeクラウド」の機能強化を行う等、業容拡大を図りました。一方で、社労夢事業において過年度ライセンス費用の未払いに対するペナルティ等の違約金として特別損失を94,121千円計上しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は売上高1,461,233千円（前年同四半期比6.5%増）、売上原価637,463千円（前年同四半期比16.3%増）、売上高に対する売上原価の比率43.6%（前年同四半期比3.7ポイント増加）、売上総利益823,769千円（前年同四半期比0.0%減）、営業利益171,542千円（前年同四半期比16.3%減）、売上高に対する営業利益の比率11.7%（前年同四半期比3.2ポイント減少）、経常利益169,298千円（前年同四半期比17.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益48,713千円（前年同四半期比62.2%減）となりました。また、当社グループが重要な経営指標と考える自己資本利益率（ROE）は、当社単体では10.3%（前年同四半期は16.6%）となりました。連結ベースでは4.6%（前年同四半期は13.5%）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

(社労夢事業)

社労夢事業においては、政府による行政手続全般の簡素化推進の中、主要顧客である社会保険労務士市場のみでなく、一般法人市場においてもシステム導入意欲が高まっております。一方で、競合による新規参入が散見され、競争の激化が予想されます。

このような中、社労夢事業では、各種法令改正への対応を進めると共に、初期費用の割引キャンペーンを行うことで社労夢システムの導入を促進いたしました。

この結果、クラウドサービス売上高は、1,017,258千円（前年同四半期比12.4%増）となりました。これは、主力サービスの顧客数が順調に増加したことで、ASPサービス売上高が902,903千円（前年同四半期比17.7%増）となったことによります。一方、IT導入補助金の活用は補助金額の減額等により前年同四半期ほどの新規導入はなく、システム構築サービス売上高は114,355千円（前年同四半期比17.1%減）となりました。

また、システム商品販売売上高は75,601千円（前年同四半期比3.6%減）、その他サービス売上高は、雇用保険関連のマイナンバー記載義務化に伴い取得代行サービスが増加し3,402千円（前年同四半期比28.6%増）となりました。

一方で、人員を増強し、法人向け営業活動の強化並びにサービス提供体制を拡充したこと等により、前年同四半期に比べ売上原価及び販売管理費が増加しました。

以上の結果、社労夢事業の売上高は1,096,262千円（前年同四半期比11.2%増）となり、売上総利益726,734千円（前年同四半期比9.1%増）、営業利益は264,505千円（前年同四半期比12.6%増）となりました。当社グループで重要な経営指標としている売上高に対する営業利益の比率は24.1%（前年同四半期比0.3ポイント増加）となりました。

(CuBe事業)

CuBe事業では、従来から行っていた大手企業向けのフロントシステムの受託開発に加え、中小企業向けにクラウドサービスの提供を開始しました。

当第3四半期連結累計期間においては、前年同四半期と比較すると大型の受託開発案件の納品が少なく売上は減少しました。また、想定以上の開発原価がかかり十分な利益が確保できなかった大型案件がありました。

一方、クラウドサービスにおいては、前期より提供開始した「年末調整CuBeクラウド」の法令改正対応及び機能強化を進め、顧客が大幅に増加しました。但し、競争力強化のためのサービス設計・開発活動及び営業活動における投資やコストが先行する状況が続いております。

以上の結果、CuBe事業の売上高は365,964千円（前年同四半期比5.4%減）、売上総利益97,025千円（前年同四半期比38.5%減）、営業損失は94,853千円（前年同四半期は31,886千円の営業損失）となりました。なお、CuBe事業の営業損失については、のれん償却額29,146千円を反映しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、891,368千円（前期比23.6%減）となりました。主な内訳は、現金及び預金444,919千円及び売掛金310,916千円となっております。

また、固定資産の残高は1,107,687千円（前期比9.5%増）となりました。主な内訳は、ソフトウェア仮勘定348,359千円、のれん301,180千円、ソフトウェア182,907千円及び繰延税金資産132,341千円となっております。

以上の結果、総資産は1,999,055千円（前期比8.2%減）となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、538,550千円（前期比45.7%減）となりました。主な内訳は、1年内返済予定の長期借入金177,292千円、未払金111,756千円及び短期借入金100,000千円となっております。

また、固定負債の残高は358,339千円（前期比612.2%増）となりました。内訳は、長期借入金358,339千円となっております。

以上の結果、負債合計は896,889千円（前期比13.9%減）となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における株主資本は、1,054,057千円（前期比1.0%減）となりました。主な内訳は、利益剰余金634,105千円、資本金219,110千円及び資本剰余金198,169千円となっております。

以上の結果、純資産は1,102,165千円（前期比3.0%減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の連結業績予想につきましては、2018年10月30日に「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	720,192	444,919
売掛金	391,808	310,916
商品	5,011	3,846
仕掛品	9,718	57,385
貯蔵品	299	121
前払費用	26,723	24,795
その他	13,320	49,383
流動資産合計	1,167,074	891,368
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	24,540	23,259
車両運搬具(純額)	5,863	4,399
工具、器具及び備品(純額)	49,221	36,379
リース資産(純額)	821	—
有形固定資産合計	80,447	64,039
無形固定資産		
ソフトウェア	139,035	182,907
ソフトウェア仮勘定	216,627	348,359
商標権	1,384	1,586
電話加入権	1,218	1,218
のれん	330,326	301,180
無形固定資産合計	688,592	835,252
投資その他の資産		
出資金	70	70
差入保証金	53,846	52,004
保険積立金	23,881	23,881
繰延税金資産	164,309	132,341
その他	98	98
投資その他の資産合計	242,206	208,395
固定資産合計	1,011,245	1,107,687
資産合計	2,178,320	1,999,055

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	37,527	28,545
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	112,985	177,292
リース債務	1,254	—
未払金	542,594	111,756
未払費用	33,039	31,825
未払法人税等	82,510	2,975
未払消費税等	—	1,052
前受金	24,083	48,787
賞与引当金	48,926	24,783
その他	8,855	11,531
流動負債合計	991,776	538,550
固定負債		
長期借入金	50,315	358,339
固定負債合計	50,315	358,339
負債合計	1,042,091	896,889
純資産の部		
株主資本		
資本金	219,110	219,110
資本剰余金	198,290	198,169
利益剰余金	648,098	637,105
自己株式	△265	△327
株主資本合計	1,065,232	1,054,057
非支配株主持分	70,996	48,108
純資産合計	1,136,229	1,102,165
負債純資産合計	2,178,320	1,999,055

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	1,371,869	1,461,233
売上原価	548,013	637,463
売上総利益	823,856	823,769
販売費及び一般管理費	619,010	652,227
営業利益	204,845	171,542
営業外収益		
受取利息	16	5
受取配当金	1	1
商標使用料	300	—
保険解約返戻金	—	9
仕入割引	875	14
その他	70	61
営業外収益合計	1,263	92
営業外費用		
支払利息	1,786	2,333
その他	140	2
営業外費用合計	1,927	2,335
経常利益	204,180	169,298
特別損失		
違約金	—	94,121
特別損失合計	—	94,121
税金等調整前四半期純利益	204,180	75,177
法人税、住民税及び事業税	100,257	1,514
法人税等調整額	△24,534	31,968
法人税等合計	75,723	33,482
四半期純利益	128,457	41,694
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△387	△7,018
親会社株主に帰属する四半期純利益	128,844	48,713

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
四半期純利益	128,457	41,694
四半期包括利益	128,457	41,694
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	128,844	48,713
非支配株主に係る四半期包括利益	△387	△7,018

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	社労夢事業	CuBe事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	985,506	386,363	1,371,869	—	1,371,869
セグメント間の内部売上高又は 振替高	494	299	793	△793	—
計	986,000	386,662	1,372,662	△793	1,371,869
セグメント利益又は損失(△)	234,984	△31,886	203,097	1,747	204,845

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	社労夢事業	CuBe事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	1,095,848	365,384	1,461,233	—	1,461,233
セグメント間の内部売上高又は 振替高	414	579	993	△993	—
計	1,096,262	365,964	1,462,226	△993	1,461,233
セグメント利益又は損失(△)	264,505	△94,853	169,652	1,890	171,542

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。